

2007年12月期 第1四半期単体業績概要

For-side.com Co., Ltd.

2007年5月25日

2007年2月28日に発表いたしました「中期再生プラン」において、
今期より単体事業に特化することを方針としておりますので、
本資料では、「2007年12月期第1四半期単体業績概要」
についてご説明させていただきます。

免責事項について

本資料に記載されております計画や見通しは本資料の作成時点において入手可能な情報に基づく将来の業績に関する見通しであり、これらには様々なリスク及び不確実性が内在しております。実際の業績はかかるリスク及び不確実性により、これらの見通しとは異なる結果をもたらしうることをご承知おきください。かかるリスク及び不確実性には、市場リスク、日本円と米ドルとその他外貨との為替レートの変動、その他情報通信関連事業を取り巻く様々なリスク及び当社が継続して業務を展開する上で不可避の潜在的リスクである経済状況、サービスの成否、他社との競争状況などが含まれますが、これらに限定されるものではない不確実性が含まれていることをご留意ください。

なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は株式会社フォーサイド・ドット・コムに属します。

2007年12月期 単体1Qの業績

(平成19年1月1日～平成19年3月31日)



単体売上・営業利益・経常利益・当期純利益

記載数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。(単位:百万円)

	06' 1Q	07' 1Q	増減	主要因
単体売上	767	600	-167 (21.8%減)	[売上構成比率の変化] コンテンツ事業 2G売上は減少を続けている中、3Gの売上は月平均で約114%成長 マスターライセンス事業 ソフト投資の絞込み(グラビアでは有名人気アイドル等)により、収益率を重視したため、売上減少 コンテンツ事業は、売上は成長しているものの単体事業全体では前年比約-22%
単体売上総利益	324	423	+99 (30.6%増)	上記、売上構成比率の変化により、原価率の減少 原価削減 2G不採算サイトの撤退により、利益率上昇
単体営業利益	520	123	+397	事務所減床 広告宣伝費合理化 人件費削減 役員報酬カット 子会社管理コスト減少
単体経常利益	305	187	+118	営業利益回復による アイタッチ売却対価の円転による為替差損計上(約1億円)等
単体当期純利益	353	112	+465	子会社処分により貸付金の戻入計上等

2007年12月期 単体1Qの業績

(平成19年1月1日～平成19年3月31日)



貸借対照表の推移

記載数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

(単位:百万円)

	06 期末	07 1Q	期末比
流動資産	7,555	10,989	3,434
(内:現預金)	696	8,389	7,693
有形・無形固定資産	108	116	8
投資その他の資産	9,024	2,036	-6,988
資産合計	16,688	13,141	-3,547
負債	8,156	4,502	-3,654
(内:借入金)	3,515	98	-3,417
純資産	8,532	8,639	107
負債・純資産合計	16,688	13,141	-3,547

2007年12月期 単体1Qの業績

(平成19年1月1日～平成19年3月31日)



損益計算書の推移と構成比率

記載数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

(単位:百万円)

	06 通期	構成比率	07 1Q	構成比率	主要因
売上高	3,126	100.0%	600	100.0%	[売上構成比率の変化] コンテンツ事業 2G売上は減少を続けている中、3Gの売上は月平均で約114%成長 マスターライセンス事業 ソフト投資の絞込み(グラビアでは有名人気アイドル等)により、収益率を重視したため、売上減少 コンテンツ事業は、売上は成長しているものの単体事業全体では前年比約-22%
売上原価	2,179	69.7%	177	29.5%	上記、売上構成比率の変化により、原価率の減少。
売上総利益	947	30.3%	423	70.5%	原価削減。 2G不採算サイトの撤退により、利益率上昇。
販管費	4,108	131.4%	546	91.0%	事務所減床。 広告宣伝費合理化。 人件費削減。 役員報酬カット。 子会社管理コスト減少。
営業利益	3,161	-101.1%	123	-20.5%	
経常利益	2,218	-71.0%	187	-31.2%	営業利益回復による。 アイタッチ売却対価の円転による為替差損計上(約1億円)等。
税引前当期利益	60,134	-1923.7%	112	18.7%	
当期純利益	60,156	-1924.4%	112	18.7%	子会社処分により貸付金の戻入計上等。

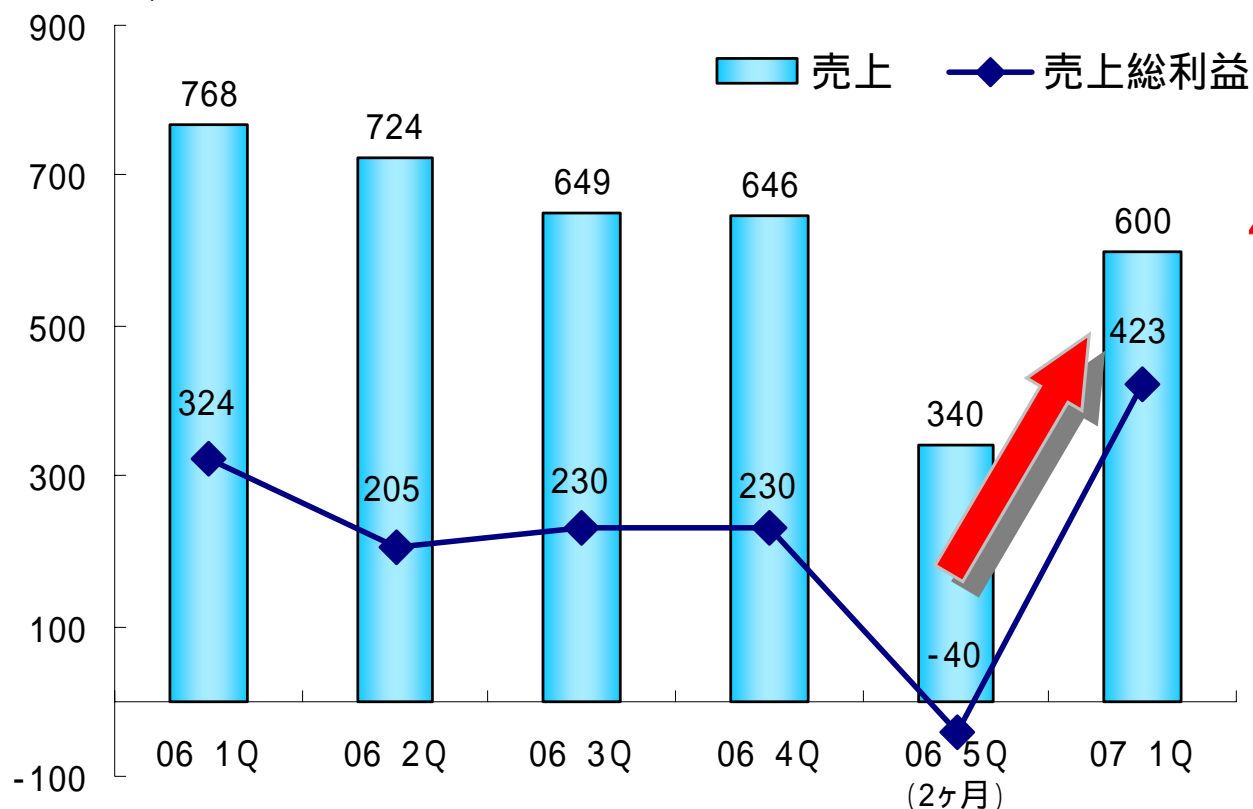
四半期毎の単体 売上・売上総利益推移

売上構成比率の変化 (P2単体売上主要因参照)
により、原価率の減少
原価削減
2G不採算サイトの撤退により、利益率上昇



売上総利益が大幅に改善

(単位:百万円)



**売上総利益
463百万円増!**

記載数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

06年は変則決算により、14ヶ月分の数値となるため、5Qは2ヶ月分の数値となります。

四半期毎の単体 販売管理費推移



事務所減床

人件費削減

子会社管理コスト減少

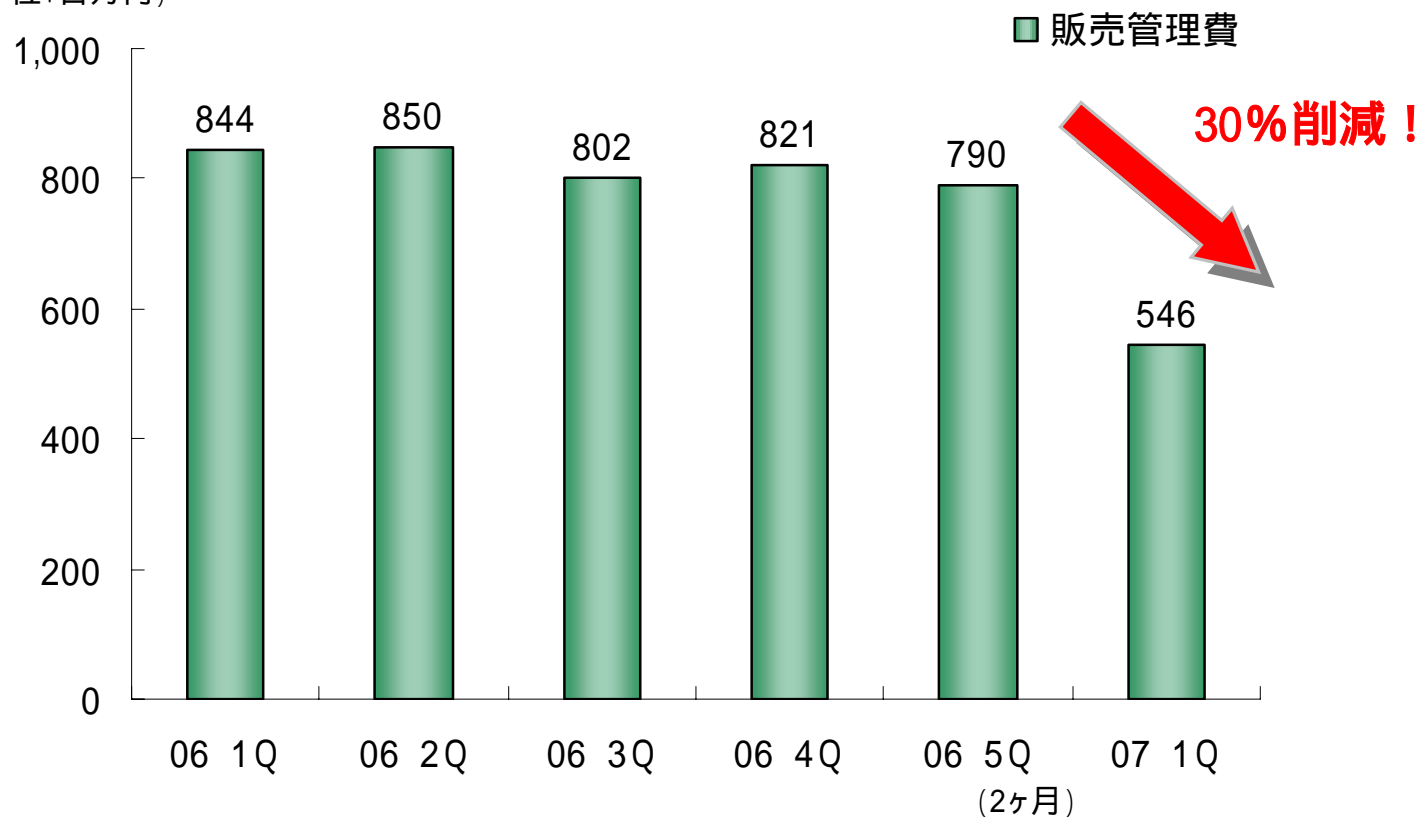
広告宣伝費合理化

役員報酬カット



販売管理費を大幅に削減

(単位:百万円)



記載数値は表示単位未満を四捨五入して表示しております。

06年は変則決算により、14ヶ月分の数値となるため、5Qは2ヶ月分の数値となります。